

学校だより 7月号

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

令和元年 7月 1日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

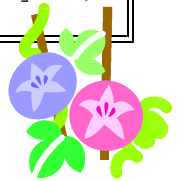
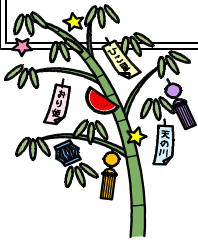
URL

<http://koya-e.konosu.ed.jp>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月 19日は「食育の日」です

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



「No side」 & 「One for all All for one」
～子どもたちに学んでほしい「ラグビーの精神」～

校長 池澤 道弘

早いもので今年度がスタートして3か月が過ぎ、7月に入りました。あと3週間ほどで子どもたちが楽しみにしている夏休みに入ります。もうそろそろ夏休みの計画を立てているご家庭も多いかと思いますが、来年のビッグイベントに向けて今年は余力を残しておこうと考えている方もおられるかもしれません。6月20日には、東京2020オリンピック公式チケット抽選結果が発表されました。いよいよオリンピック・パラリンピックが現実のものとして近づいてきたことを感じ、来年を待ち遠しく思っているところです。

東京2020に先立ち、今年9月にはラグビーワールドカップ2019日本大会が開かれます。開幕戦から決勝までは全48試合。熊谷市を含む全国12の都市で、20チームが熾烈な闘いを繰り広げます。ご存知のようにラグビーはとても激しいスポーツですが、それ故にラグビー独特の精神があります。そのひとつは試合終了を「タイムアップ」と言わずに「ノーサイド」と言うことです。「ノーサイド」とは、試合が終われば自陣と敵陣というサイドがなくなるという考えから生まれた言葉です。試合ですから、実際には勝ったチーム、負けたチームに分かれます。でも選手たちは、試合中にどれ程激しい闘いをしていたとしても、試合が終わると互いに健闘を称え合います。ラグビーがノーサイドの精神に則ったスポーツだからです。

もうひとつは、「ワンフォーオール オールフォーワン」という有名な言葉です。前回のワールドカップで日本代表選手だった五郎丸選手は、ラグビーのことを次のように話しています。「ラグビーが他のスポーツと大きく異なる点は、いろいろなタイプの選手がいることです。これは、ポジションによって求められるプレーや役割が大きく異なるため、どのポジションのメンバーが欠けても勝利にたどり着くことはできません。一人ひとりがその役割を果たすことで、勝利を手にすることができるのです。そのため仲間を守ることを躊躇している暇はありません。ラグビーをしている人はこれを心の底から理解しているから、自分のためではなく常に仲間のためにプレーします。その気持ちや姿勢がメンバーの心を互いに前に動かし、時には勇気を与えて行くのです」

学級も一緒です。お互いの頑張りを認め合い、自分の役割をしっかりと果たし、自分のことより友だちのことを考えて行動すれば、団結力のある良い学級になります。ラグビーワールドカップ開催の年にあたり、小谷っ子にはこのラグビーの精神をぜひ自分のものにして、よりよい学級をつくってほしいと願っています。



学校評議員の紹介

令和元年度の学校評議員の皆様をご紹介します。

- ・島田 幸男 様 (見守りたい代表)
- ・林 和夫 様 (長寿会代表)
- ・小林 洋一 様 (学識経験者)
- ・岩崎 俊雄 様 (民生児童委員代表)
- ・小林 美鈴 様 (放課後子ども教室コーディネーター)
- ・佐藤 寿子 様 (PTA顧問)
- ・加藤 傑 様 (PTA会長)

6月12日(水)に第1回学校評議員会を開催し、学校評議員の皆様にお渡しするとともに、学校運営に対するご意見をいただきました。第2回は12月3日(火)、第3回は2月25日(火)に実施する予定です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

学校閉庁日のお知らせ

鴻巣市では以下の期間を学校閉庁日とし、全ての小・中学校で教職員が不在となります。

- 1 期 間 8月13日～8月16日の4日間 ※8月17日は土曜日閉庁
- 2 非常時の対応 事故や災害等、緊急時の連絡は教育委員会へ (544-1213 又は 544-1214)